※ 考生請注意：本試題 □可 ☑不可 使用計算機

1. 試將下列日文文獻譯爲華文(25%)

我等は知る、從前文藝は唯少數のブルジョア、貴族階級の獨占、鑑賞する所にして、現在已に存在の價値を失ひ、已に衰微して自己の墳墓を掘るにも堪へず、如何にするも死滅の期來りて手段なし。此時に當り我等は躊躇すべからず、一致努力を覺悟し、文藝をプロレタリアの手中に奪回し、大衆の所有物となし。而して文藝革命を促進すべし。此の過渡期にありて正確なる理論なくして正確なる行動あらざることを吾人は熟知す。…（中略）故に世界の被壓迫勞苦群集諸君に希望す！各□媒姆の任を盡し、扶養、薫陶、此の嬰兒「臺灣戰線」をして暴壓に隨つて成長強大を致さしめ、千里不毛の地を開拓せしめ、白色恐怖の怒潮中にありて、廣大なる勞苦群集の旗幟の下に雄□しき地位を占めて起つものたらしめんことを。

—「發刊宣言」、『臺灣戰線』創刊號、臺灣戰線社、1930 年
（臺灣總督府警務局編『臺灣總督府警察沿革誌第二編－領臺以後の治安狀況（中卷）臺灣社會運動史』、1939 年、293 頁）より—

2. 試將下列日文文獻譯爲華文(25%)

制服ないしは軍服、あるいはそれに類する衣服は、近代社会における理念と矛盾を内包している。…（中略）資本主義と社会主義とファシズムは、近代のイデオロギー的対立を生み出した。いや、イデオロギー的対立こそ近代の生み出した構図だと言うべきだろう。相互に対立すると思われているイデオロギーを基本にした社会そして国家が その対立の結果として引き起こした総力戦は、イデオロギーがすでに形骸化していたにもかかわらず、相互に自らの未来こそがあるべき未来であることを主張し、闘争へと向かった結果としてある。しかし、いずれのイデオロギーも、同じように制服的なファッションを生み出したのである。そのことは、対立するかに思える近代のイデオロギーが、どこかで共有するものを持っていたことを示しているのではないか。

—柏木博『ファッションの 20 世紀』、
日本放送出版協会、1998 年、80 頁より—

3. 所附(一)日文文章是吳濁流小說『波次坦科長』之序文。請將此序文翻譯成中文。又，請說明吳濁流這篇小說的寫作時代背景及這篇小說的主要內容。(25%)

4. 所附(二)日文文章是一九三六年楊逵編輯之『台灣新文學』創刊號上，日本作家貴司山治應邀所寫的一篇文章。請說明這篇文章的大意，並解釋爲何採取這種主張的日本人文章會出現在台灣人所創辦的『台灣新文學』雜誌上?(25%)

※ 考生請注意：本試題 □可 ☑不可 使用計算機

(一)

はしがき

二十世紀で偉大なるものは、何といってもポツダム宣言であろう。全世界を挙げて十数億の人間が、まるで気狂いのように血と涙の闘争をしている真っ最中に、この宣言が行なわれたのであるから。

おかげでいろいろなものが生まれてきた。いわく、ポツダム将軍、ポツダム政治屋、ポツダム博士、ポツダム教授、ポツダム成金、ポツダム社長、と。しかしてポツダム科長もまたそのなかの一である。ここに描かれた「ポツダム科長」は、ただちょっと毛色が変わっているだけであるが、まさにめでたき歴史の所産であるというべきであろう。

民国三十六年（一九四七）十月八日

正自里にて、著者

吳濁流

※ 考生請注意：本試題 □可 ☑不可 使用計算機

(二)

臺灣の作家に望むこと

貴司山治

植民地には、植民地の、特殊の生活があるこ思ひます。

その特殊性を、具體的に文學に生かすことが植民地作家の最大の任務だらうこ思ひます。

で、臺灣地方の特殊性こいへば、具體的にいへば何んか？　私は今くはしくそれをしらずむしろ臺灣の諸君からきゝたい位に思つてゐるのですが、私の知つてゐるかぎりについて諸君にのぞみたいのは、

第一に、臺灣人の、民族生活（その風俗、習慣、氣分等）をハッキリこ作品の中に描き出すこと

第二に、臺灣民族は今ごんな經濟上の、又制度上の、或は政治上の境遇におかれてゐるか——をハッキリ具體的に描き出すこ

第三に、臺灣民族はその生活の中で、しらず〳〵に、又意識的にどういふことを望んでゐるかを、その作家の頭の中からではなく、民族生活の現實の中からみつけ出して、それを描くこ

第四に、臺灣人はいはゆる熱蕃、生蕃の……藝術の上でもかれらの生活を描き出さなければならない。

特に、一から三までは個々別々のものこしてでなく、それが綜合されて、植民地に生れたすぐれた文學作品、藝術作品こなるべきこを望んでやみません。

そして、そのためには、それらのもの、描き方が大事だらうこ思ひます。

ごんな描き方が一番いゝかこいへば、抽象的には何こもいへませんが、民族の最大多數を占める勞働者、農民、小生產者等の氣分や生活の利害の上に立つて、物事を觀察し、その結果を描いて行くようにすれば、多くの人々を感動させうる藝術が生れるだらうこ思ひます。